

## メディアクリエーションルーム (MCR) 利用上の注意

## ①利用要領上の遵守事項を守ってください。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 許可なく MCR に設置された設備、資料並びに機器及び物品等を持ち出してはならない。</li> <li>(2) 許可なく機器及び物品等を持ち込み、これを使用してはならない。</li> <li>(3) 許可なく MCR において飲食を行ってはならない。</li> <li>(4) MCR 内では、火気を使用してはならない。</li> <li>(5) MCR 利用中に利用者側に盗難又は紛失等の事故が起きても本学はその責を負わない。</li> <li>(6) 利用後は、清掃等後片付けをし、原状に回復したうえで返還しなければならない。</li> <li>(7) 利用後に、MCR に設置された設備並びに機器及び物品等に残っていた情報、素材等が削除されても本学はその責を負わない。</li> <li>(8) MCR では、政治的及び宗教的な勧誘、示威行為、営利目的の利用、公序良俗に反する利用、その他第2条第1項に合致しない利用をしてはならない。</li> <li>(9) 他の桂図書館利用者の迷惑となる行為を行わないこと。</li> <li>(10) その他、利用上の細部については、本学担当者の指示に従うものとする。</li> </ul> |
|---|

## ②図書館スタッフは、機器の簡単な操作は手伝えますが、技術的な支援は行えません。

技術的な支援をご希望の場合は、情報環境機構のコンテンツデザイン支援サービスをご利用ください。<https://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/content/>

## ③動画に使用するテロップ等の画像はあらかじめご用意ください。MCR 常設の動画編集 PC で作成することは出来ます。

## ④スタジオ内、各機器の運用・接続は 4K 環境で行っています。

出張スタジオセットはフル HD で運用しています。(4K ビデオカメラ単独で 4K 映像の録画は可能)

なお、各機器で録画して持ち帰る場合は、下記メディアと容量をご確認の上ご準備ください。  
※持ち込み PC、USB メモリーで持ち帰ることも出来ますが、転送時間も利用時間に考慮願います。

機器	必要メディア
4K ビデオカメラ PXW-FX9K/PXW-FS7M2K	本体で録画される場合は XQD メモリーカード* が必要です。保存形式は XAVC です。入れ替えなしで 2 枚に録画出来ます。
4K ビデオカメラ LIME-FX6VK	本体で録画される場合は CFexpress TypeA メモリーカード又は SD メモリーカード* (ハイスピード 転送規格推

	奨)が必要です。保存形式はXAVCです。入れ替えなしで2枚に録画出来ます。
ミラーレスカメラ ILCE-1	本体で動画録画にはCFexpressTypeAメモリーカード又はSDメモリーカード(ハイスピード転送規格推奨)が必要です。保存形式はXAVCです。入れ替えなしで2枚に録画出来ます。
360°カメラ QooCam8K	内臓64GBのメモリーを搭載していますが、長時間録画には256GBまでのマイクロSDメモリーカード(ハイスピード転送規格推奨)が必要です。保存形式はMP4です。※360°映像にするためには専用アプリで合成する必要があります。
メモリーレコーダ - HyperDeck Studio 4 k Pro	スタジオ動画の録画機器です。録画したデータをそのまま持ち帰るには2.5インチディスクSSD又はSDメモリーカード(ハイスピード転送規格推奨)が必要です。保存形式はQuickTime(mov)です。
音声レコーダ - DN-300R MKII	スタジオ音声の録音機器です。録音したデータをそのまま持ち帰るにはSDメモリーカード又はUSBデバイスが必要です。
キャリング収録システム※録画用モニター使用	SDメモリーカード(ハイスピード転送規格推奨)が必要です。保存形式はQuickTime(MOV)です。

※カメラはSONY社独自の動画形式(XAVC)で録画するため、メモリーカード等を持ち帰ってもそのままでは使用できないことがあります。

※動画の容量の目安:4K3840 x 2160/60fpsで1時間約54GB、フルHD1920 x 1080/60fpsで1時間約12GB あくまでも目安です。保存形式でも変わりますので余裕を見てメディア等をご用意ください。